

2026年3月11日

ネोजェンジャパン株式会社

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-3-3

横浜コネクトスクエア 12階

当該製品における安全データシート (SDS) について

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。さて、当該製品について、安全データシート (SDS) を発行しておりますが、当該製品の供給者情報及び日本の適用法規制情報について以下のように追加情報として記載をいたしますので、SDS と併せてご確認・ご利用をいただけますようお願いいたします。

本件につきましてご不明点などございましたら、当社担当までお問い合わせください。

敬具

記

製品コード	製品名
K-GLUHK-110A	Megazyme® D-グルコース測定キット (HK 法) 110 分析 (D-Glucose HK Assay Kit)

供給者情報

ネोजェンジャパン株式会社

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-3-3

横浜コネクトスクエア 12階

電話番号: 045-211-4615

日本国内適用法規制及び関連情報

D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 1)

労働安全衛生法：施行令18条の2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令18条有害物質 (表示物質)

労働安全衛生法：規則第594条の2 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・表示義務対象物質

成分	CAS番号	法律または政令名称	含有率 (w/w%)
Imidazole	288-32-4	イミダゾール	10-20 %



労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質

成分	CAS番号	法律または政令名称	対象物質の区分	含有率 (w/w%)
Imidazole	288-32-4	イミダゾール	皮膚刺激性有害 物質	10-20%

本書の情報は正確を期していますが、すべてを網羅することを意図したのではなく、あくまで目安として使用するべきものとします。**Neogen Corporation** は、対象製品の取り扱いまたは接触に起因するいかなる損傷・損害についても責任を負わないものとします。

以上



# D-Glucose HK Assay Kit

## キット 安全情報シート (SIS)

作成日 (JP): 2022/04/12 改訂日 (JP): 2022/04/12 バージョン (JP): 1.0

### 第1項: キットID

#### 1.1 キット識別子

製品名 : D-Glucose HK Assay Kit  
製品コード : K-GLUHK

#### 1.2 キット安全情報シートの供給者の詳細

Megazyme  
Bray Business Park  
A98 YV29 Bray - Ireland  
T +353 12861220 - F +353 12861264  
[cs@megazyme.com](mailto:cs@megazyme.com) - [www.megazyme.com](http://www.megazyme.com)

### 第2項: 一般事項

本製品は、複数の個別包装コンポーネントで構成されるキットです  
本キットは適切な試験手順に従って取り扱い、適当な保護具を使用してください

### 第3項: キット内容

名前	概要	重量 or 数量	量	ユニット	GHS JP 分類
D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 1)	Buffer		1	pcs (pcs)	皮膚腐食性/刺激性 区分1, H314 生殖毒性 区分2, H361 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2, H371
D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 2)	Reagent		1	pcs (pcs)	区分に該当しない
D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 3)	Reagent		2	pcs (pcs)	区分に該当しない
D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 4)	Reagent		1	pcs (pcs)	区分に該当しない

### 第4項: 一般的助言

データなし

### 第5項: 取扱いの指針

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。  
安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。  
涼しいところに置くこと。  
安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。  
個人用保護具を着用する。

### 第6項: 応急措置

眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。  
飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

# D-Glucose HK Assay Kit

## キット 安全情報シート (SIS)

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚は多量の水で洗浄する。
その他の医学的アドバイスまたは治療	: 対症的に治療すること。

### 第7項: 火災時の措置

消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器 完全防護服
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。

### 第8項 輸送上の注意

#### 国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG)	: 非該当
正式品名 (UN RTDG)	: 非該当
容器等級(UN RTDG)	: 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG)	: 非該当

#### 国内規制

その他の情報	: 補足情報なし
--------	----------

### 第9項: その他の情報

データなし



# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 2022/02/22 改訂日: 2022/02/22 バージョン: 1.0

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 1)  
製品コード : K-GLUHK (Bottle 1)

### 会社情報

#### 製造業者

Megazyme

A98 YV29

Ireland County Wicklow Bray Bray Business Park

T +353 12861220 - F +353 12861264

[cs@megazyme.com](mailto:cs@megazyme.com) - [www.megazyme.com](http://www.megazyme.com)

### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +353 12861220 [9 am to 5 pm GMT - Monday to Friday]

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

健康有害性

皮膚腐食性／刺激性

区分1

生殖毒性

区分2

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

区分2 (神経系)

### ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

危険有害性 (GHS JP)

: 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い  
臓器の障害のおそれ (神経系)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 使用前に取扱説明書入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

: 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
皮膚 (又は髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。  
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当てを受けること。  
直ちに医師に連絡すること。  
特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

保管 : 施錠して保管すること。  
廃棄 : 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
imidazole	10 - 20	C3H4N2	(5)-381	既存化学物質	288-32-4
MAGNESIUM CHLORIDE	1 - 5	MgCl2	(1)-233;(1)-244	-	7786-30-3
sodium azide	< 0.1	-	-	-	26628-22-8

### 4. 応急措置

#### 応急措置

応急措置 一般 : 直ちに医師の診察を受ける。  
吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
皮膚に付着した場合 : 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。  
直ちに医師の診察を受ける。  
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
直ちに医師の診察を受ける。  
飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。  
無理に吐かせてはいけない。  
直ちに医師の診察を受ける。

#### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 皮膚に付着した場合 : 火傷。  
症状/損傷 眼に入った場合 : 眼に重度の損傷を与える。  
症状/損傷 飲み込んだ場合 : 火傷。

#### 医師に対する特別注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素  
使ってはならない消火剤 : データなし  
火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。  
消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
自給式呼吸器。  
完全防護服。

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

##### 非緊急対応者

##### 応急処置

- : 出勤は、適切な保護装備を身につけた有資格者に限られる。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

##### 緊急対応者

##### 保護具

- : 適切な保護具を着用して作業する。  
詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。

##### 環境に対する注意事項

##### 環境に対する注意事項

- : 環境への放出を避けること。  
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

##### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

##### 浄化方法

- : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。  
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

##### その他の情報

- : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

##### 技術的対策

##### 安全取扱注意事項

- : データなし
- : 作業所の十分な換気を確保する。  
使用前に取扱説明書入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
個人用保護具を着用する。  
皮膚、眼との接触を避ける。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

##### 接触回避

##### 衛生対策

- : データなし
- : 作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
製品取扱い後には必ず手を洗う。

#### 保管

##### 安全な保管条件

- : 施錠して保管すること。  
換気の良い場所で保管すること。  
涼しいところに置くこと。

##### 安全な容器包装材料

- : データなし

### 8. ばく露防止及び保護措置

##### 設備対策

- : 作業所の十分な換気を確保する。

##### 保護具

##### 呼吸用保護具

- : [換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。

機器	フィルタタイプ	条件	規格
防塵マスク	タイプ P1	液体粒子に対する保護	EN 143 EN 149

##### 手の保護具

- : 保護用手袋

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR)	3 (> 60分)		2 (< 1.5)	EN ISO 374

眼の保護具 : 安全メガネ

タイプ	適用分野	特徴	規格
安全メガネ	ドロップレット	サイドシールド付き	EN 166

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

タイプ	規格
実験用白衣	

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	:
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点	: 非該当
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: 非該当
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7節参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

## 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: データなし
急性毒性 (経皮)	: データなし
急性毒性 (吸入)	: データなし

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

imidazole (288-32-4)	
急性毒性 (経口)	ラットのLD50値は960~970 mg/kg (SIDS (2004)) に基づき区分4とした。
急性毒性 (経皮)	データなし。
急性毒性 (吸入:気体)	GHSの定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データなし。
LD50 経口	960 mg/kg

MAGNESIUM CHLORIDE (7786-30-3)	
LD50 経口 ラット	2800 mg/kg
LD50 経口	2800 mg/kg bodyweight

皮膚腐食性/刺激性 : 重篤な皮膚の薬傷

imidazole (288-32-4)	
皮膚腐食性/刺激性	ウサギの皮膚に水と共に本物質80%含むペースト状被験物質0.5 mLをを4時間適用した試験において、一夜で重度の紅斑が発生、観察期間終了の8日目まで持続し、また、軽度な壊死が一夜で現れ、観察期間終了時には全層にわたる壊死が病理学的に認められた。その結果、本物質には腐食性あり (corrosive) との評価 (SIDS (2004)) に基づき区分1とした。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : データなし

imidazole (288-32-4)	
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	ウサギの眼に未希釈の試験物質100 mgを適用した試験 (OECD TG405; GLP) において、刺激性指数MMAS (AOIIに相当) が59.3で刺激性あり (irritating) との評価結果 (SIDS (2004)) に基づき、区分2Aとした。また、ウサギを用いほぼ同じ条件で実施された別の試験 (Federal Register 38 No. 178) でも、刺激指数は57.4で刺激性あり (irritating) と報告され (SIDS (2004))、その結果から分類も区分2Aとなる。

呼吸器感受性 : データなし

imidazole (288-32-4)	
呼吸器感受性	データなし。

皮膚感受性 : データなし

imidazole (288-32-4)	
皮膚感受性	データなし。

生殖細胞変異原性 : データなし

imidazole (288-32-4)	
生殖細胞変異原性	マウスに単回経口投与による骨髄を用いた小核試験 (OECD TG 474 GLP) における陰性結果 (SIDS (2004)) に基づき区分外とした。なお、in vitro試験としてはエームス試験で陰性 (SIDS (2004)) が報告されている。

発がん性 : データなし

imidazole (288-32-4)	
発がん性	データなし。

生殖毒性 : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### imidazole (288-32-4)

#### 生殖毒性

【分類根拠】(1) から、母動物に軽微な一般毒性影響がみられる用量で胎児の主に外表及び骨格に奇形の発生増加が明確にみられたことから、区分1Bとした。旧分類からECHA CLPの分類が追加されたため、生殖毒性項目のみ見直した(2021年)。【根拠データ】(1) 雌ラットを用いた強制経口投与による発生毒性試験(妊娠6~19日)において、母動物に一般毒性影響(体重増加抑制、摂餌量減少、流産(6/25例)、膣出血(1/25例))がみられる高用量(180 mg/kg/day)で、全胚吸収雌(3/25例)、着床後胚損失率増加(平均43% vs 対照群8%)、腹当たりの生存胎児比率の減少(6.3% vs 対照群9%)がみられた。また、胎児に外表奇形(口蓋裂、全身浮腫)、骨格奇形(短い肩甲骨、橈骨/尺骨湾曲、胸骨分節の位置異常・二分胸椎分節等)など奇形発生の増加(全体の発生率: 12%(胎児当たり)、11%(腹当たり))がみられた。中用量以下(60及び20 mg/kg/day)でも奇形児は散見されたが、奇形発生率は対照群と差がなかったとの報告がある(EU REACH CoRAP (2018)、ECHA RAC Opinion (Background Doc.) (2013)、AICIS (IBNICNAS) IMAP (2017))。【参考データ等】(2) ラット及びマウスの胚を用いたin vitro全胚培養試験(in vitro whole embryo culture test)において、本物質30及び60 micro g/mLの添加濃度で、濃度依存的な胎児死亡(60 micro g/mLで最大ラット37.5%、マウスで83% vs 対照群0%)及び異常(脳サイズの減少、明瞭な水腫: 60 micro g/mLで最大ラット80%、マウス100% vs 対照群0%)の増加がみられたとの報告がある(EU REACH CoRAP (2018)、ECHA RAC Opinion (Background Doc.) (2013))。(3) ラットを用いた90日間強制経口投与試験において、雌雄の生殖器官の病理組織検査、精子検査及び性周期解析結果からは受胎能に悪影響を及ぼす可能性の所見は最高用量の180 mg/kg/dayまで検出されなかったとの報告がある(EU REACH CoRAP (2018)、ECHA RAC Opinion (Background Doc.) (2013)、AICIS IMAP (2017))。(4) EUではRepr. 1Bに分類している(CLP分類結果 (Accessed Nov. 2021))。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

: 臓器の障害のおそれ(神経系)

### imidazole (288-32-4)

#### 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

ラットに500~5000 mg/kgを経口投与による急性毒性試験(LD50 = 960-970 mg/kg)で投与1時間以内に痙攣、平衡異常、側臥位、死亡、生存例では鈍麻、軽微な平衡異常、呼吸促進が観察され、マウスでは1000 mg/kgを経口投与により15~30分で不規則呼吸、立毛、一部の動物では閉瞼、さらに2000mg/kgでは1例の死亡を含め一部ではうずくまりが見られた(SIDS (2004))。なお、ラットに対し腹腔内投与であるが、150 mg/kgで振戦の症状も報告されている(SIDS (2004))。以上より、ガイダンス値区分2に相当する用量範囲で観察された一般症状に基づき、区分2(神経系)とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

: データなし

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

imidazole (288-32-4)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットを用いた90日間反復経口投与試験 (OECD TG 408; GLP) における有意な変化として、高用量180 mg/kg/dayの雌雄で小葉中心性肝細胞肥大、雄で腎皮質の近位尿管における $\alpha$ 2-ミクログロブリンの蓄積が報告されているが、用量がガイダンス値範囲を超えている (SIDS (2004))。一方、ラットに28日間反復経口投与した試験では、125 mg/kg/day (90日換算 : 38.9 mg/kg/day) 以上でヘモグロビンおよびヘマトクリット値の低下、250 mg/kg/day (90日換算 : 77.8 mg/kg/day) 以上で赤血球数の低下、また、125 mg/kg/day以上で肝腫大、250 mg/kg/day以上で雄の腎臓重量の増加がそれぞれ報告されている (SIDS (2004))。これらの所見について、腎臓への影響は雄ラット特有の $\alpha$ 2-ミクログロブリン腎症の可能性が高く分類根拠とせず、28日間反復投与での血液指標の変化も、国際的テストガイドラインに従ってその後実施された90日反復投与試験において見出されていないことから分類根拠としなかった。肝臓については、90日間投与でガイダンス値範囲を超える180 mg/kg/dayで小葉中心性肝細胞肥大、28日間投与の125 mg/kg/day (90日換算 : 38.9 mg/kg/day) 以上で肝腫大、さらに500 mg/kg/day (155.6 mg/kg/day) の雄でクレアチニンとALTの増加がそれぞれ報告 (SIDS (2004)) されているが、ガイダンス値上限 (100 mg/kg/day) 付近での悪影響の有無についてはデータ不十分で判断できない。従って「分類できない」とした。

誤えん有害性 : データなし

imidazole (288-32-4)	
誤えん有害性	データなし。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

生態系 - 全般 : 中和していない場合、水生生物に有害であることがある。  
水生環境有害性 短期 (急性) : データなし  
水生環境有害性 長期 (慢性) : データなし

imidazole (288-32-4)	
水生環境有害性 短期 (急性)	藻類、甲殻類及び魚類において100 mg/Lで急性毒性が報告されていない (SIDS, 2005) ことから、区分外とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性があり (BODによる分解度 : 90% (既存点検, 2003)、藻類 (Scenedesmus subspicatus) の72時間NOEC=25 mg/L (SIDS, 2005) から、区分外とする。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、難水溶性ではなく (水溶解度=159100 mg/L, PHYSPROP Database (2009))、甲殻類及び魚類の急性分類が区分外である (SIDS, 2005) ことから、区分外となる。以上の結果から、区分外とした。
NOEC 藻類 慢性	25 mg/l
MAGNESIUM CHLORIDE (7786-30-3)	
LC50 - 魚 [1]	1970 - 3880 mg/l (Exposure time: 96 h - Species: Pimephales promelas [static])
EC50 - 甲殻類 [1]	140 mg/l (Exposure time: 48 h - Species: Daphnia magna [Static])
EC50 - 他の水生生物 [1]	548.4 mg/l waterflea

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

MAGNESIUM CHLORIDE (7786-30-3)	
EC50 - 他の水生生物 [2]	> 100 mg/l
EC50 72h - 藻類 [1]	2200 mg/l (Species: Desmodesmus subspicatus)

### 残留性・分解性

D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 1)	
残留性・分解性	データなし

MAGNESIUM CHLORIDE (7786-30-3)	
残留性・分解性	Biodegradability: not applicable.
生化学的酸素要求量(BOD)	Not applicable
化学的酸素要求量(COD)	Not applicable
ThOD	Not applicable

### 生体蓄積性

D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 1)	
生体蓄積性	データなし

MAGNESIUM CHLORIDE (7786-30-3)	
生体蓄積性	No bioaccumulation data available.

### 土壤中の移動性

D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 1)	
土壤中の移動性	データなし

### オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : データなし

## 13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。

## 14. 輸送上の注意

UN RTDGに準ずる

### 国際規制

#### 国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 非該当  
正式品名 (UN RTDG) : 非該当  
容器等級(UN RTDG) : 非該当  
輸送危険物分類 (UN RTDG) : 非該当

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

---

### 国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

## 15. 適用法令

### 国内法令

データなし

## 16. その他の情報

**免責条項** 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。



# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 2)

\*\*\* DRAFT \*\*\*

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 2022/02/22 改訂日: 2022/02/22 バージョン: 1.0

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 2)  
製品コード : K-GLUHK (Bottle 2)

#### 会社情報

##### 製造業者

Megazyme

A98 YV29

Ireland County Wicklow Bray Bray Business Park

T +353 12861220 - F +353 12861264

[cs@megazyme.com](mailto:cs@megazyme.com) - [www.megazyme.com](http://www.megazyme.com)

#### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +353 12861220 [9 am to 5 pm GMT - Monday to Friday]

### 2. 危険有害性の要約

ラベル表示適用外

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

本混合物には、適用可能な規制に従って言及される物質は含まれていない

### 4. 応急措置

#### 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。  
眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。  
飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

#### 医師に対する特別注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤  
使ってはならない消火剤 : データなし  
火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。  
消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
自給式呼吸器。  
完全防護服。

# 安全データシート

D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 2)

\*\*\* DRAFT \*\*\*

JIS Z 7253 : 2019に準拠

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

### 非緊急対応者

応急処置 : 漏出エリアを換気する。

### 緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。

### 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 : 製品は機械的に回収する。  
その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 : データなし  
安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。  
個人用保護具を着用する。  
接触回避 : データなし  
衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
製品取扱い後には必ず手を洗う。

### 保管

安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。  
涼しいところに置くこと。  
安全な容器包装材料 : データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

### 保護具

呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

機器	フィルタタイプ	条件	規格
防塵マスク	タイプ P1	固体粒子に対する保護	EN 143 EN 149

手の保護具 : 保護用手袋

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR)	3 (> 60分)		2 (< 1.5)	EN ISO 374

眼の保護具 : 安全メガネ

タイプ	適用分野	特徴	規格
安全メガネ	粉じん	サイドシールド付き	EN 166

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 2)

\*\*\* DRAFT \*\*\*

JIS Z 7253 : 2019に準拠

タイプ	規格
実験用白衣	

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
色	:
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: 非該当
沸点	: データなし
引火点	: 非該当
自然発火点	: 非該当
分解温度	: データなし
可燃性	: 不燃性
蒸気圧	: データなし
相対密度	: 非該当
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: 非該当
動粘性率	: 非該当
粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7節参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

## 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: データなし
急性毒性 (経皮)	: データなし
急性毒性 (吸入)	: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 2)

\*\*\* DRAFT \*\*\*

JIS Z 7253 : 2019に準拠

D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 2)	
動粘性率	非該当

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

生態系 - 全般	: 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期（急性）	: データなし
水生環境有害性 長期（慢性）	: データなし

### 残留性・分解性

D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 2)	
残留性・分解性	データなし

### 生体蓄積性

D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 2)	
生体蓄積性	データなし

### 土壤中の移動性

D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 2)	
土壤中の移動性	データなし

### オゾン層への有害性

オゾン層への有害性	: データなし
-----------	---------

## 13. 廃棄上の注意

廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
------	-----------------------------------

## 14. 輸送上の注意

UN RTDGに準ずる

### 国際規制

#### 国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG)	: 非該当
正式品名 (UN RTDG)	: 非該当
容器等級(UN RTDG)	: 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG)	: 非該当

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

### 国内規制

その他の情報	: 補足情報なし
--------	----------

# 安全データシート

D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 2)

\*\*\* DRAFT \*\*\*

JIS Z 7253 : 2019に準拠

---

## 15. 適用法令

### 国内法令

データなし

## 16. その他の情報

**免責条項** 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。



# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 3)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 2022/02/22 改訂日: 2022/02/22 バージョン: 1.0

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 3)  
製品コード : K-GLUHK (Bottle 3)

#### 会社情報

##### 製造業者

Megazyme

A98 YV29

Ireland County Wicklow Bray Bray Business Park

T +353 12861220 - F +353 12861264

[cs@megazyme.com](mailto:cs@megazyme.com) - [www.megazyme.com](http://www.megazyme.com)

#### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +353 12861220 [9 am to 5 pm GMT - Monday to Friday]

### 2. 危険有害性の要約

ラベル表示適用外

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
Kinase (phosphorylating), hexo-, Hexokinase	0.1 - 1	-	-	-	9001-51-8
Dehydrogenase, glucose 6-phosphate	< 0.1	-	-	-	9001-40-5
sodium azide	< 0.1	-	-	-	26628-22-8

### 4. 応急措置

#### 応急措置

応急措置 一般

: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

吸入した場合

: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
呼吸器系疾患を発症した場合: 毒物センターまたは医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合

: 皮膚は多量の水で洗浄する。

眼に入った場合

: 予防措置として眼を水ですすぐ。

飲み込んだ場合

: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

#### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合

: 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 3)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### 医師に対する特別注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素  
使ってはならない消火剤 : データなし  
火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。  
消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
自給式呼吸器。  
完全防護服。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

#### 非緊急対応者

応急処置 : 漏出エリアを換気する。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

#### 緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。

### 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。  
その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 : データなし  
安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。  
個人用保護具を着用する。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
接触回避 : データなし  
衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
製品取扱い後には必ず手を洗う。

### 保管

安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。  
涼しいところに置くこと。  
安全な容器包装材料 : データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。  
保護具 : [換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。  
呼吸用保護具

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 3)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

機器	フィルタタイプ	条件	規格
防塵マスク	タイプ P1	液体粒子に対する保護	EN 143 EN 149

手の保護具 : 保護用手袋

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR)	3 (> 60分)		2 (< 1.5)	EN ISO 374

眼の保護具 : 安全メガネ

タイプ	適用分野	特徴	規格
安全メガネ	ドロップレット	サイドシールド付き	EN 166

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

タイプ	規格
実験用白衣	

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 乳白色
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点	: 非該当
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: 非該当
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7節参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 3)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: データなし
急性毒性 (経皮)	: データなし
急性毒性 (吸入)	: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: データなし
呼吸器感受性	: データなし
皮膚感受性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

### 12. 環境影響情報

#### 生態毒性

生態系 - 全般	: 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期 (急性)	: データなし
水生環境有害性 長期 (慢性)	: データなし

#### 残留性・分解性

D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 3)	
残留性・分解性	データなし

#### 生体蓄積性

D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 3)	
生体蓄積性	データなし

#### 土壌中の移動性

D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 3)	
土壌中の移動性	データなし

#### オゾン層への有害性

オゾン層への有害性	: データなし
-----------	---------

### 13. 廃棄上の注意

廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。
------	-----------------------------------

### 14. 輸送上の注意

UN RTDGに準ずる

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 3)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### 国際規制

#### 国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 非該当  
正式品名 (UN RTDG) : 非該当  
容器等級(UN RTDG) : 非該当  
輸送危険物分類 (UN RTDG) : 非該当

#### MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

### 国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

## 15. 適用法令

### 国内法令

データなし

## 16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。



# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 2022/02/22 改訂日: 2022/02/22 バージョン: 1.0

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 4)  
製品コード : K-GLUHK (Bottle 4)

#### 会社情報

##### 製造業者

Megazyme

A98 YV29

Ireland County Wicklow Bray Business Park

T +353 12861220 - F +353 12861264

[cs@megazyme.com](mailto:cs@megazyme.com) - [www.megazyme.com](http://www.megazyme.com)

#### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +353 12861220 [9 am to 5 pm GMT - Monday to Friday]

### 2. 危険有害性の要約

ラベル表示適用外

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
benzoic acid	0.1 - 1	C7H6O2	(3)-1397	既存化学物質	65-85-0

### 4. 応急措置

#### 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。  
眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。  
飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

#### 医師に対する特別注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素  
使ってはならない消火剤 : データなし  
火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。  
消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
自給式呼吸器。  
完全防護服。

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

##### 非緊急対応者

応急処置 : 漏出エリアを換気する。

##### 緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。

##### 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。  
その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

技術的対策 : データなし  
安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。  
個人用保護具を着用する。  
接触回避 : データなし  
衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
製品取扱い後には必ず手を洗う。

#### 保管

安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。  
涼しいところに置くこと。  
安全な容器包装材料 : データなし

### 8. ばく露防止及び保護措置

benzoic acid (65-85-0)					
日本 - ばく露限界値					
許容濃度(ACGIH)	TWA 0.5 mg/m3 (IFV), STEL - (Skin)				
設備対策	: 作業所の十分な換気を確保する。				
保護具	: 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。				
機器	フィルタタイプ	条件	規格		
防塵マスク	タイプ P1	液体粒子に対する保護	EN 143 EN 149		
手の保護具	: 保護用手袋				
タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR)	3 (> 60分)		2 (< 1.5)	EN ISO 374
眼の保護具	: 安全メガネ				

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

タイプ	適用分野	特徴	規格
安全メガネ	ドロップレット	サイドシールド付き	EN 166

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

タイプ	規格
実験用白衣	

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	:
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点	: 非該当
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: 非該当
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7節参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

## 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: データなし
急性毒性 (経皮)	: データなし
急性毒性 (吸入)	: データなし

benzoic acid (65-85-0)	
急性毒性 (経口)	ラットのLD50値として、1,700 mg/kg（環境省リスク評価第7巻：暫定的有害性評価シート（2009）、SIDS（2004））、2,530 mg/kg、2,565 mg/kg（SIDS（2004））、2,700mg/kg（JECFA FAS5（1974））、3,040 mg/kg（SIDS（2004）、CICAD 26（2005））の報告がある。該当数の多い区分外とした。

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

benzoic acid (65-85-0)	
急性毒性 (経皮)	ウサギのLD50値として、> 2,000 mg/kg、> 5,000 mg/kg (SIDS (2004))、> 10,000 mg/kg (SIDS (2004)、CICAD 26 (2005)) の報告に基づき、区分外とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHSの定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHSの定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	ラットの4時吸入ばく露におけるLC50値 > 12.2 mg/L (SIDS (2004)) に基づき区分外とした。なお、LC50値は飽和蒸気圧濃度 (0.005 mg/L) 以上であり、試験は粉じんで行われたとの記載に基づき、mg/Lを単位とする基準値を適用した。
LD50 経口	2530 mg/kg
LD50 経皮	10000 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	12.2 mg/l/4h

皮膚腐食性／刺激性 : データなし

benzoic acid (65-85-0)	
皮膚腐食性／刺激性	SIDS (2004) には、テストガイドラインに準拠した試験で「軽度の刺激性」又は「刺激性なし」と報告されている。一方、エタノール又はクリームに0.05%含有する本物質を用いたパッチテストで614人中18人で刺激性がみられたとする報告やワセリンに0.5%含有する本物質を用いたパッチテストで32人中7人で蕁麻疹がみられたとの報告があるため、分類できないとした。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : データなし

benzoic acid (65-85-0)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	SIDS (2004) において、テストガイドラインに準拠した試験で「重度の刺激性」又は「腐食性」と報告されていることから、区分1とした。

呼吸器感受性 : データなし

benzoic acid (65-85-0)	
呼吸器感受性	データ不足のため分類できない。

皮膚感受性 : データなし

benzoic acid (65-85-0)	
皮膚感受性	SIDS (2004) には、テストガイドラインに準拠した試験で「感受性なしとするデータが多数報告されている。一方、ヒトへの影響としては、ワセリンに0.5%含有する本物質を用いたパッチテストで32人中7人で蕁麻疹がみられたとの報告 (SIDS (2004))、皮膚科の患者2,045人に、5%濃度の本物質Na 塩でパッチテストを行った結果、陽性反応のみられたのは5人 (0.2%) のみであったとする報告や、化粧品に対してアレルギーや刺激症状があると考えられる患者 5,202人に本物質でパッチテストを行った結果、34人 (0.7%) で陽性反応がみられたとする報告など、感受性ありとする報告が多数がある (環境省リスク評価第7巻: 暫定的有害性評価シート (2009))。しかし、SIDS (2004) では、健康なヒトでは感作は起こり難いと結論していることから、分類できないとした。

生殖細胞変異原性 : データなし

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

benzoic acid (65-85-0)	
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。すなわち、本物質に関するin vivoデータはなく、in vitroでは、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞の染色体異常試験で陰性である（SIDS（2004）、CICAD 26（2000）、JECFA FAS 48（2002））。ただし、SIDS（2004）では、本物質及びその関連物質である安息香酸ナトリウム、安息香酸カリウム、ベンジルアルコールを含め、突然変異性及び染色体異常誘発性はないと記載している。
発がん性	: データなし
benzoic acid (65-85-0)	
発がん性	本物質は、EPAでグループD（IRIS（1991））のため、分類できないとした。
生殖毒性	: データなし
benzoic acid (65-85-0)	
生殖毒性	ラットを用いた経口経路（混餌）での4世代生殖毒性試験において生殖・発生毒性はみられていない（SIDS（2004）、CICAD 26（2000）、環境省リスク評価第7巻：暫定的有害性評価シート（2009）、HSDB（Access on September 2013））。また、発生毒性に関しては、ラットを用いた経口経路（強制）での発生毒性試験において胚吸収の増加がみられた（HSDB（Access on September 2013））との報告と発生毒性はみられていない（SIDS（2004）、CICAD 26（2000）、環境省リスク評価第7巻：暫定的有害性評価シート（2009）との報告、ハムスターを用いた経口経路（強制）での発生毒性試験において胚吸収の増加と奇形の増加がみられている（HSDB（Access on September 2013））との報告がある。発生毒性がみられたとの報告がリスト2の情報源からのみであることから、区分2とした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし
benzoic acid (65-85-0)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。なお、ラットの経口投与においてガイダンス区分2の用量（1,984 mg/kg）で体重増加に影響は見られなかったとの記載がある（SIDS（2004））。CICAD 26（2000）にはラットの経口経路（投与量不明）において下痢、筋力低下、振戦、自発運動の低下、衰弱がみられたとの記載がある。またラットの吸入ばく露（粉じん）においてはガイダンスの範囲外の濃度（12.2 mg/L）において一時的な自発運動の亢進や流涎がみられたが、後に回復した（SIDS（2004））との記載がある。ウサギの経皮ばく露においてはLD50 > 2,000 mg/kgとあるが明確な毒性症状について記載がない。以上の結果から、区分の判断に足る所見がないことからデータ不足のため分類できないとした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データなし
benzoic acid (65-85-0)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットの経口ばく露及びウサギの経皮ばく露では区分2のガイダンス値を上回る用量においても毒性所見は見られていない（SIDS（2004）、CICAD 26（2000）、IUCLID（2000））。一方、ラットに本物質エアロゾルを4週間吸入ばく露した試験では、区分2のガイダンス値の範囲内（ガイダンス値換算濃度：0.078 mg/L）の濃度で上気道の炎症、腎臓重量の減少が見られている（SIDS（2004）、CICAD 26（2000）、IUCLID（2000）、HSDB（Access on October 2013））が、腎臓は病理組織変化を伴っておらず、標的臓器とするには不十分であると判断した。以上の結果から、区分2（上気道）とした。

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

誤えん有害性 : データなし

benzoic acid (65-85-0)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。

水生環境有害性 短期（急性） : データなし

水生環境有害性 長期（慢性） : データなし

benzoic acid (65-85-0)	
水生環境有害性 短期（急性）	魚類（ブルーギル）の96時間LC50 = 44.6 mg/L（SIDS, 2004）から区分3とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	信頼性のある慢性毒性データが得られていない。急速分解性があり（2週間でのBOD分解度=85%（既存点検, 1979））、急性毒性は区分3であるが、生物濃縮性が低いと推測される（LogP=1.88（SIDS, 2004））ことから、区分外とした。
LC50 - 魚 [1]	44.6 mg/l

### 残留性・分解性

D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 4)	
残留性・分解性	データなし

### 生体蓄積性

D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 4)	
生体蓄積性	データなし

### 土壤中の移動性

D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 4)	
土壤中の移動性	データなし

### オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : データなし

## 13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。

## 14. 輸送上の注意

UN RTDGに準ずる

# 安全データシート

## D-Glucose HK Assay Kit (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### 国際規制

#### 国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 非該当  
正式品名 (UN RTDG) : 非該当  
容器等級(UN RTDG) : 非該当  
輸送危険物分類 (UN RTDG) : 非該当

#### MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

### 国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

## 15. 適用法令

### 国内法令

データなし

## 16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。